

SSH白神山地研修

1. 活動時期 2025年8月5日～8月7日

高校2年 吉田 京司

2. 活動の概要

秋田県と青森県にまたがる原生ブナ林の白神山地で植生や生物相、そして山地内で狩猟生活を行なっているマタギの方々の暮らしや文化を学びます。

1日目は白神山地ビジターセンターを見学し、2日目は核心地域の周りの緩衝地域を散策し、林道を登り切った後は川を降り、道の途中にあるマタギの生活しているマタギ小屋の見学をさせていただきます。3日目は白神山地世界遺産記念碑の横にある林道から山に入り、ブナなどの樹木や植物を中心に観察します。2、3日目ともに地元のマタギの方ガイドがついていて、いつでも質問をすることが可能です。

3. 感想

2日目の川下りの最中に溪流魚のアマゴやイワナ、ヤマメを観察することができたのが個人的に一番嬉しかったです。またレッドリストに入っているトウホクサンショウウオやハコネサンショウウオの幼体を沢で大量に観察できて、白神山地の生態系の豊かさや環境の美しさを知ることができました。宿泊するコテージでも色々な生物が観察でき、ライトトラップではクワガタやカブトムシなどのレギュラーな昆虫から、鱗翅目のイレギュラーな昆虫まで幅広く観察することができました。コテージ下に流れる川で川虫を観察することもできました。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

生き物が好きな生徒、生物選択をしようと思っている生徒は本当に一回は行ったほうがいいと思います。普段、普通の人間なら行かないような環境で「通常とは異なった」生物相を観察するのは、楽しいのはもちろんのことですが、生物の勉強にもとてもつながると思います。また、実際に行って観察する際は生物の観察だけではなく、その周りの環境や近くにあった物を記録しておくといいと思います。

